



地域と『つながり合う』授業実践

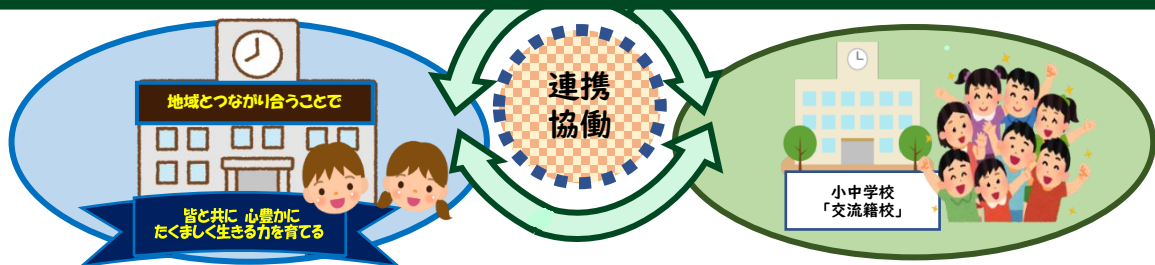
2 他校との交流 『交流籍』を活用した交流及び共同学習

実践グループ：小学部 教科グループ

今年度は、直接交流はできませんが、豊かな間接交流になるように楽しく取り組んでいます。

自己紹介カードと国語の単元で考えた学校の好きな物を紹介する、文章を送りました。今後も教科学習の学びの共有やリモート交流を計画しています。

学校の庭で拾った
素敵な落ち葉も、
交流籍校の友達に
送りました。



児童生徒にとっての価値

- ・離れた場所においても、一緒に学ぶ友だちがいることで、共にがんばる気持ちになれます。
- ・地域に知り合い、友だちができるなど、豊かな地域生活につながります。

地域にとっての価値

- ・学校は違っても、家の近くに友だちがいることが分かります。
- ・いろいろな友だちがいることが分かり、多様性を受け入れる気持ちができるようになります。

『つながり合う』POINT！（地域支援連携課から）

・普段は小人数での授業が中心となっています。日頃から、交流籍校の友達の存在が学習の励みになっています。相手校の先生とは、教科の進捗を確認し合っていて、次は教材を交換し合う交流も予定しています。学びを共有することで、同じ年齢の子どもたちの学びや考えを知り、学びを広げたり深めたりするといった、学習効果を期待できます。

・初回の交流では、自分のことや友人のこと、学校の良さを紹介しました。自分のことや学校のことを考えるきっかけとなりました。また、交流籍校の児童にとっては、多様性について考える機会になったと感じています。